

# この本知ってる？ 中・高生版 R4

ここに紹介した本は、図書館にあります。読みたい本がみつかったら、中央図書館2階ヤングアダルトコーナー、依知北・睦合北・小鮎・荻野・森の里・玉川・相川・睦合西・南毛利の公民館図書室に来てください。

本は、ひとり10冊、2週間借りられます。読みたい本が貸出中のときは、インターネットや電話、窓口で予約してください。上記以外の公民館の事務室で予約図書を受け取ることもできます。

家の近くの公民館をぜひ利用してね！

## ◆読んでみよう◆



### 『赤毛証明』 光丘 真理/作 くもん出版

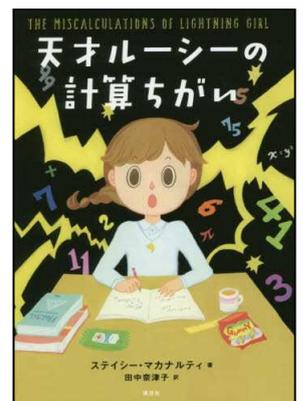
「ふつうってなに???

生まれつきの茶髪のために、生徒手帳に「赤毛証明」と赤いゴム印を押されてしまっためぐ。「ふつうでない印」のようでモヤモヤする。めぐは夏休みの自由研究で「ふつうってなんだろう？」をテーマにすることにした。たくさんの人と会って、話して、考えて、めぐが出した結論は。

### 『天才ルーシーの計算ちがい』 スティシー・マカナルティ/著

田中 奈津子/訳 講談社

ルーシーは雷に打たれて数学の天才になるが、天才になった代わりに極端な潔癖症で、立つ、座るを3回繰り返す子になってしまった。学校になじめず、やめたルーシーは、コンピュータで勉強、友だちもコンピュータの中という生活を送る。心配した祖母は、今度はむりやり中学に入れ、友だちを1人作れと言う。変人扱いされ苦痛な学校生活の中、ウィンディという女の子の友だちができ、ルーシーは変わり始める。



### 『俳句部、はじめました さくら咲く一度っきりの今を詠む』 神野 紗希/著 岩波書店

俳句と聞くとちょっと古くさいイメージですが、今では高校生を対象とした全国大会の俳句甲子園が行われています。俳句は五七五、たった17音の中に季語を入れ、自分の気持ちや目にしたことを言葉で表します。ぜひ一度指を折りながら、俳句を詠んでみてはいかがでしょうか。はまっちゃうかもしれませんよ。



## 『保健室経由、かねやま本館。』

松素 めぐり／著 おとない ちあき/装画・挿画 講談社

佐藤まえみは中学校入学を期に新潟県から東京へ引っ越した。期待とは裏腹に、グループから仲間外れにされてしまい体調を崩して保健室に向かう。山姥のような銀山先生に手招きされて、見慣れない臨時の第二保健室へ入ると、異臭がして白い煙の中から床下世界の入り口が現れた。



## 『メイドイン十四歳』 石川 宏千花／著 講談社

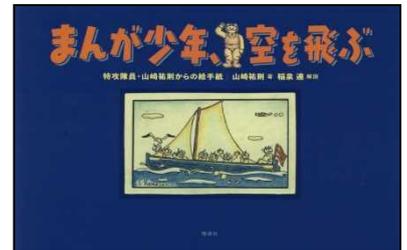
吉留藍堂は、進学校に通う中学二年生。おっとり屋で勉強も苦ではないナチュラルボーン優等生だ。先生受けの良い藍堂は、転入生浅窪沙斗のお世話係を頼まれた。包帯ぐるぐる巻きで現れた浅窪くんは先天性可視化不全症候群だった。それは彼の脳波の影響で周りから姿を見えなくする難病だ。お世話係の藍堂も学校中の生徒に好奇の目で見られるようになる。



## 『まんが少年、空を飛ぶ 特攻隊員・山崎祐則からの絵手紙』

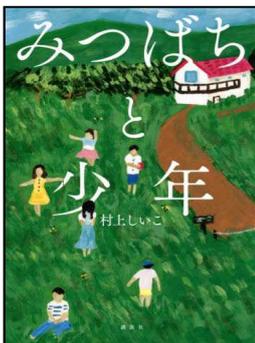
山崎 祐則／著 稲泉 連／解説 偕成社

漫画と飛行機が大好きだった山崎祐則さんは、1942年16歳で志願して「少年飛行兵」になり、19歳で特攻で出撃して亡くなりました。本にはその間の家族にあてて書いた手紙が収められています。得意な漫画で描いている手紙は見事で、ユーモアさえ感じます。友人に託した貯金通帳に書かれた遺書が心に刺さります。



## 『みつばちと少年』 村上 しいこ／著 講談社

思ったことを口に出すと皆を不快にさせてしまう雅也は、クラスに一人も友達がいない。普通がわからず悩んでいる。夏休みに北海道で養蜂場を営むおじさんの所に向かった雅也は、「北の太陽」という施設で様々な事情で親と暮らすことのできない年齢の違う5人の子どもたちと出会う。大自然でみんなと一緒に過ごしているうちに雅也の気持ちは変わっていく。



## 『保健室のアン・ウニョン先生』

チョン・セラ／著 斎藤 真理子／訳 亜紀書房

悩める生徒が集まる保健室。悩みの背景には、学校に巣食う何かよからぬ気配があるようで…。新任の養護教諭アン・ウニョン先生がBB弾とおもちゃの剣で悪霊と戦う、ポップでキュートで少しホラーな運動神経悪い系アクションコメディ。



◆調べてみよう・考えてみよう◆

『女の子はどう生きるか 教えて、上野先生！』

上野 千鶴子／著 岩波ジュニア新書 岩波書店

女の子という理由で、何かをあきらめたり、我慢したりしていませんか。日頃、「なんかおかしいなあ」と思う疑問を、上野先生がきっちり答えてくれています。男とか女とか性別とか、そういうことで人が差別されることは許されません。「おかしいことはおかしい」と気付く人間になりましょう！！



『クジラが歩いていたころ 動物たちのおどろくべき進化の旅』

ドゥーガル・ディクソン／作 ハンナ・ベイリー／絵 橋本 あゆみ／訳 化学同人

動物のグループ別に進化の歴史を見ていくことで、その動物に起こった変化が、まるで物語のように、美しいイラストでわかります。

クジラの祖先が陸を歩いていたころは、いったいどんな姿をしていたのでしょうか。クジラの他にも、「ワニが世界を支配していたころ」「ヘビに足があったころ」など、目次を見るだけでもワクワクしてきます。

『13歳からの「ネットのルール」誰も傷つけないための』

スマホリテラシーを身につける本』 小木曾 健／監修

メイツユニバーサルコンテンツ

「アカウントが乗っ取られた」「フェイクニュースの見分け方は？」  
「炎上したら何が起きる？」「迷惑メールがたくさん来る！」など、  
中高生からの質問に答えながら、ネットで失敗しない方法を教えます。  
トラブルに巻き込まれないように、相手も巻き込まないように！



『真実を発見！ 科学捜査 DNA鑑定から死因究明まで』

石澤 不二雄／監修 子供の科学サイエンスブックスNEXT 誠文堂新光社

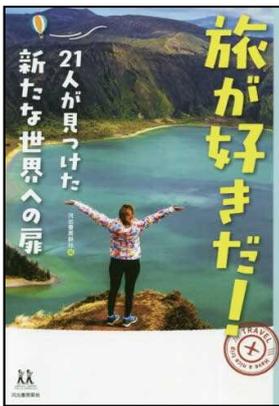
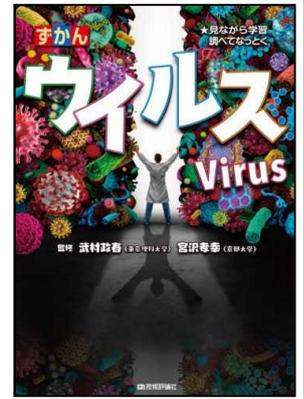
架空の放火殺人事件をもとに、捜査から事件解決までを追っていきます。現場に残った指紋や下足痕（足跡）などの証拠の採取、採取したさまざまな資料の鑑定、血液やDNAの鑑定、容疑者の捜査、犯人の逮捕などを解説します。刑事ドラマに出てくる、鑑識、科捜研（科学捜査研究所）、警察の捜査員などの役割や仕事に分かります。

## 『ずかんウイルス 見ながら学習 調べてなっとく』

武村 政春／監修 宮沢 孝幸／監修 技術評論社

ウイルスと聞くと、体に害を与え、病気を引き起こす<sup>わるもの</sup>悪者のように思いがちです。でも、本当にそうなのでしょうか。ウイルスにはどんな種類があるのか、本当に悪者なのかなど、まだまだ知られていないことがたくさんありそうです。ウイルスとは何か？もっと研究してみませんか。

第1章～5章に分けて、わかりやすく解説されています。



## 『旅が好きだ！ 21人が見つけた新たな世界への扉』

角田 光代[ほか]著 14歳の世渡り術 河出書房新社

旅好きの著者 21人が「旅」の体験談や考えを届けます。「私が世界一周をして手に入れたもの」「天才でないあなたへ」など興味を持ったタイトルや、好きな著者から読んだりできます。平安時代の貴族や夏目漱石など歴史上の旅人も登場します。20冊の旅のお勧め本も紹介されているので、さらに読みたい方はどうぞ。

## 『目でみる数字』 岡部 敬史／文 山出 高士／写真 東京書籍

「350本」って何の数字？ 答えは魚のハリセンボンの針の数。では、「300：1」は？ 答えは花粉とコロナウィルスの大きさの比率。花粉とコロナウィルスは子ども用プールに浮かぶ葉の上にテントウムシが乗っている写真で表現されていて、プールが花粉、テントウムシの点がコロナウィルスですって。

この本では、このような興味深い数字を写真で紹介しています。



## 『わたしは大統領の奴隷だった ワシントン家から逃げ出した奴隷の物語』 エリカ・アームストロング・ダンバー／著

キャサリン・ヴァン・クリーヴ／著 渋谷 弘子／訳 汐文社

初代大統領 ジョージ・ワシントンとマーサ夫妻の奴隷だったオーナ・マリア・ジャッジが、自由を求め官邸を逃げ出し、新しい土地へ行きますが、更に厳しい生活が。生まれながらに奴隷として生きなければならなかった女性の、過酷な運命ながら自分の生き方をつらぬいた物語。

\*中央図書館 2階 ヤングアダルトコーナーのご案内

2階の開館時間 午前9時から午後7時まで

お休みの日 施設保守日

年末年始 本の整理のとき ほか



問い合わせ 厚木市立中央図書館 〒243-0018 厚木市中町 1-1-3 ☎ (046) 223-0033